



HULIC

HULIC

PARCO

PARCO

渋谷再開発により ストアブランドは、進化する。

新生渋谷パルコを通じたストアブランドの進化

都市生活を楽しまない消費者、都市で活躍する事業主の多様化するニーズに対応し、店舗事業を含めたパルコ事業を通じて、心の豊かさや、新しい刺激、充足感などパルコ独自の価値提供による「都市成熟への貢献」に向け、大きく3つの取り組みを推進してまいります。

一つ目は、「ストアブランドの進化」です。2019年秋にオープンを予定する「新生渋谷パルコ」では、これまでの商業施設にはない新たな取り組みを結集させ、次世代商業空間を創造したいと考えています。

パルコは2015年6月に、将来に向けた開発として、現在の渋谷パルコを含む「宇田川町15地区開発計画」の開発施行予定者として、東京都に対し、都市再生特別措置法に基づく「都市再生特別地区の都市計画」の提案を行い、12月に本計画が決定されました。新たに建設を予定する建物の詳細については、現在検討を進めていますが、オフィスを含む複合商業施設を想定しており、延べ床面積は約63,930㎡、地上19階、地下3階となる見込みです。

渋谷エリアは変化に富み、さまざまな価値観や文化の融合が進む個性豊かなエリアです。独特な文化の発信拠点として海外からの来訪者も多く、ますます発展が期待される、世界的にも注目度の高い都市の一つです。

本計画では、オフィスを含む複合型商業施設の強みを活かし、さまざまな企業との接点拡大による事業の拡大をはじめ、さらに進んだICTの活用や、渋谷区の「エンタテインメント・シティ構想」との連携などに取り組み、さらなる街の活性化に貢献していきます。そして、このプロジェクトを通じて得られる新たな成果やノウハウを、他の都心型店舗にも順次波及させることにより、パルコのストアブランド進化の実現をはかっていきます。

多彩なスキームによる商業不動産プロデュース

二つ目は、「商業不動産のプロデュース」です。パルコやゼロゲートといった既存形態だけでなく、新たな業態開

発にも着手し、現在、未出店のエリアを中心に成長性のある都市部に、拠点拡大に取り組んでいきます。具体的な開発計画としては、今中期経営計画のなかで京都、原宿などゼロゲート型5件、松坂屋上野店・新南館内 新生渋谷パルコなどパルコ型4件、錦糸町駅前物件、沖縄浦添西海岸計画など新業態等3件の計12件を外部企業との協業や循環型投資モデル活用など多様な開発スキームにより推進し、確実な利益創出をはかっていきます。

また、パルコグループの総合空間事業やWEBコンサルティング事業により、商業施設事業者や出店テナントにパルコ独自のソリューションを提供することで業容拡大をはかります。

コンテンツ充実で新たな消費体験を提供

三つ目は、「ソフトコンテンツの拡大」です。パルコが得意とするエンタテインメント事業を強化し、新生・渋谷パルコ劇場の開業を代表とするライブエンタテインメントの拠点拡充を推進するとともに、既存コンテンツの進化と新たなコンテンツの創造、さらにはコンテンツのグローバル展開をはかります。また、パルコグループの専門店事業において外部企業との連携などによる事業領域の拡大を推進するとともに、パルコ独自のインキュベーション機能を発揮し、クリエイターや企業との協業を通じて、新たな消費体験の提供に取り組んでいきます。

